

# 大腿骨頸部骨折 骨接合術 入院計画表①

様 主治医

受け持ち看護師

経過	入院日	入院2日目～手術前々日	手術前日	手術当日術前	手術当日術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目
月/日	/	/ ~ /	/	/	/	/	/	/	/
目標	日常生活が介助で送ることができる 安静が守れる 牽引の圧迫による指先のしびれがない。 骨折部の痛みが緩和される。				手術した部位の痛みが緩和される。 安静が守れる。 麻酔による頭痛・嘔気がない。 術後の経過が理解できる。				
処置	ベッド上安静のため、尿の管を入れさせていただきます。 アイスパックで骨折した足を冷やします 血栓予防のために足に機械をつけることがあります テープかぶれが起こらないか確認します。判定は48時間後です。  骨折した足の牽引をします。牽引スポンジの圧迫により指先にしびれが出てくる場合があります。その		排便がなければ浣腸をかける場合があります。		医師の指示により酸素を行うことがあります。  5日間手術部位をアイスパックで冷やします。	回診時、傷の消毒を行います	回診時、傷の消毒をします。	回診時、傷の消毒をします。	毎日、または一日おきに回診時傷の消毒をします。
安静度	ベッド上安静です。ベッドアップは痛みに合わせてできます。排泄もベッド上でしていただきます。 寝返りは看護師がお手伝いします。				ベッド上安静です。ベッドアップは痛みに合わせて行います	自力で寝返りしてもよくなります。リハビリを開始します。  手術した方の足に体重をかけるようになります。			
治療薬	常用薬は手術後落ち着くまで詰め所でお預かりします。自分で管理できるようになったらお返しします。 血栓予防の薬を服用中の方は一時、中止するかもしれません。 痛いときは痛み止めが使用できます。			( )時に内服をします。 ( )時頃に点滴をします。	麻酔覚醒後、常用薬の内服を開始します。 抗生剤の点滴をします。	抗生剤の点滴をします。  血栓予防の内服または注射をする場合があります。	抗生剤の点滴をします。		
検査	血圧・体温・脈拍を測ります。 採血・レントゲン・呼吸機能の検査をします。				帰室後採血があります。	朝採血があります。		朝採血があります。	
食事			( )時から絶食です。 ( )時から絶飲食です。	( )時から絶飲食です。	水分・食事は腸の動きが確認できるときまで取れません。看護師よ				
清潔	朝・夜、洗面のタオルをお渡しします。	尿の管が入っている間、感染予防のため毎日洗浄します。  牽引スポンジの中を清拭します。	寝たままシャワーに入ります。			全身清拭をします。			傷に防水テープを貼り、介助でシャワーに入れます。
説明	入院の説明をさせていただきます	手術までにバスタオルを用意しておいてください。	麻酔科医の診察・麻酔の説明があります。 主治医より手術についての説明があります。 手術前後の説明をさせていただきます。		ご家族に主治医より説明があります。				
その他	退院先や自宅の状況を確認をします。		手術同意書・麻酔同意書を提出していただきます。						

※病状に応じて予定は変更になる場合があります。ご不明な点がございましたら看護師にお尋ね下さい。 滝川市立病院 整形外科

滝川市立病院 第7病棟 作成 H22年 4月